



2023年
6月7日
No.A23-02

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2023年5月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・5月25日(木)、尹 徳敏 駐日大韓民国大使
「日韓関係の現状と展望」(於:オークラ東京)

<要旨>

日韓関係の歴史を概観し、両国関係の変化や共通の課題についての考察がなされた他、韓国外交の特徴や両国を取り巻く国際情勢についても説明がなされた。また、首脳レベルの交流再開が経済面に及ぼす影響についても言及があった。



(2) 中東情勢分析発表会

・5月12日(金)、第28回オンライン中東情勢分析発表会 (Zoom形式)

演題:「サウジアラビアが目指す地域秩序の再編」(研究主幹 高尾 賢一郎)

<要旨>

サウジアラビアの地域外交の展開や域外大国との関係を説明し、同国が進めている地域秩序の再編について考察した。



演題:「イラン・サウジアラビア国交回復合意に見るイランの地域外交戦略」(研究主幹 青木 健太)

<要旨>

イランの戦略的視座について説明し、サウジアラビアや中国、アメリカの観点についても考察した。



2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

・2023年5月号(2023年6月7日付)

1. トルコ:5月14日議会選挙の公式結果発表
2. サウジアラビア:アラブ連盟サミットの開催
3. イラン:ウクライナがロシアによるイラン製ドローンの使用を非難

4. パレスチナ：イスラエルによる対PIJ攻撃
5. アフガニスタン：カタール首相がターリバーン最高指導者と会談と報道
6. エジプト：トルコと関係改善で合意

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東かわら版の発行

- No.14「イラン：インドと自国通貨での貿易取引を提唱」(研究主幹 青木健太、5月2日)
- No.15「イラン：ライシー大統領がシリア訪問で「抵抗の枢軸」強化を確認」(研究主幹 青木健太、5月8日)
- No.16「トルコ：「イスラーム国」指導者を無力化と発表」(主任研究員 金子真夕、5月8日)
- No.17「アフガニスタン：国連のグテーレス事務総長主催会合がドーハで開催」(研究主幹 青木健太、5月9日)
- No.18「シリア：シリアのアラブ連盟復帰」(協力研究員 高岡豊、5月9日)
- No.19「チュニジア：ジェルバ島・シナゴーク近くでの発砲事件」(主任研究員 高橋雅英、5月10日)
- No.20「トルコ：大統領・大国民議会(国会)議員選挙の実施」(主任研究員 金子真夕、5月15日)
- No.21「トルコ：過半数に達する候補者不在で大統領選は決選投票へ」(主任研究員 金子真夕、5月16日)
- No.22「イラン：ロシアとラシュト・アスタラ間鉄道敷設に合意、国際南北輸送回廊の整備を推進」(研究主幹 青木健太、5月18日)
- No.23「リビア：東部政府の首相解任」(主任研究員 高橋雅英、5月19日)
- No.24「イスラエル：「エルサレムの日」でアピールされる緊張の継続とアラブ諸国の動向との関係」(研究主幹 高尾賢一郎、5月19日)

No.25「アフガニスタン：ターリバーン首相代行の交代を含む最近の政治情勢」(研究主幹 青木健太、5月19日)

No.26「サウジアラビア：ゼレンスキー・ウクライナ大統領の来訪」(研究主幹 高尾賢一郎、5月25日)

No.27「イラン：シャムハーニー国家最高安全保障評議会書記の交代の背景」(研究主幹 青木健太、5月25日)

No.28「シリア：イスラーム過激派の主要活動家がイドリブ県から逃亡」(協力研究員 高岡豊、5月26日)

No.29「トルコ：エルドアン大統領が決選投票を制し再選へ」(主任研究員 金子真夕、5月29日)

No.30「アフガニスタン・イラン：両国国境警備隊が衝突、複数名が死傷」(研究主幹 青木健太、5月29日)

No.31「オマーン・イラン：ハイサム国王のテヘラン訪問の背景と地域関係再編に持つ意味」(研究主幹 高尾賢一郎・青木健太、5月31日)

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(3) 中東分析レポートの発行 【会員限定】

- ・No.2「シリアのアラブ連盟復帰をめぐる中東諸国の思惑」(5月18日)

※内容はホームページをご参照ください

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/)

(4) その他の活動

- ・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとく A/中東を理解するキーワード」へ当会研究員が出講した。

① 「権威主義」(主任研究員 金子真夕、5月10日)

② 「ナショナリズム」(主任研究員 高橋雅英、

5月17日)

- ③ 「世俗化」(主任研究員 金子真夕、5月24日)
- ④ 「紛争」(研究主幹 青木健太、5月31日)

- ・5月30日(火)、2023年度外交・安全保障事業「中東ユーラシアにおける日本外交の役割——国家間競争の時代における大国主導の連結性戦略と地域秩序再編の実態解明」事業の第1回研究会を実施した。



3. その他 (要人往来)

- ・10日、林外相はヨルダンのサファディー副首相兼外相と電話会談した。

4. 6月の予定

- ・6月9日(金)、14:00~15:30、中東情勢オンライン講演会(今野泰三 中京大学教養教育研究院教授「右派政権の復活と「民主主義の危機」言説の陥穽」)
- ・6月13日(木)、8:30~10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(小野 啓一 外務審議官(経済担当)「G7広島サミットと日本の経済外交」) *法人会員限定
- ・6月29日(木)、18:30~20:30、於：都内ホテル、「中東大使を囲む会」

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催するこ

ともございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

5. 出版物刊行のご案内

- ・5月31日(水)、『中東研究』第547号(2023年度 Vol. I、定価：本体2000円+税)が発行されました。本号は「政治と宗教の今」と題する特集を組み、現在の中東・北アフリカ諸国における政教関係のあり方について、イラン、エジプト、トルコ、チュニジア、サウジアラビアの事例を取り上げた論文を掲載しました。このほか、「最近の動向」では、イスラエル情勢や原発をめぐるロシアの中東進出について分析した論文を所収しております。是非お手にとってご覧いただければ幸いです。

※詳細はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/publication/chutoukenkyu>)

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。